



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 3970 URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 富田 直人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山崎 浩史 (TEL) 03(5766)3800
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,132	50.3	485	58.0	489	59.2	261	30.3
2021年3月期第3四半期	2,084	44.1	307	258.8	307	259.7	201	413.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 295百万円 (46.8%) 2021年3月期第3四半期 201百万円 (414.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	111.52	110.73
2021年3月期第3四半期	95.29	94.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,418	2,850	82.0
2021年3月期	3,137	2,531	80.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,799百万円 2021年3月期 2,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	39.5	650	25.6	630	20.5	350	19.3	148.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,399,600株	2021年3月期	2,392,600株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	44,066株	2021年3月期	47,188株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	2,349,262株	2021年3月期3Q	2,110,815株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い国内外経済に深刻な影響が長期間に及ぶとの懸念が高まっており、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、創業以来培ってきた営業、マーケティング、そしてテクノロジーのノウハウを活用して、「法人営業の新しいスタイルを創造する」事業の拡大に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は、営業を中心とした人材採用の強化と費用対効果の高い集客施策の実施に加え、テレワーク関連カテゴリーを中心とした掲載製品数の増加に伴い資料請求数が増加したことから、オンラインメディア事業を中心とした拡大基調で推移いたしました。また、前連結会計年度より連結子会社となりました株式会社Innovation IFA Consultingが提供する金融プラットフォーム事業においても売上に寄与し始めてきたことにより、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,132,816千円（前年同期比50.3%増）、営業利益は485,963千円（前年同期比58.0%増）、経常利益は489,991千円（前年同期比59.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は261,992千円（前年同期比30.3%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別の業績の詳細は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より新たに連結子会社となった株式会社Innovation IFA Consultingが提供しております金融プラットフォーム事業は「その他」の事業区分としておりましたが、重要性が増したため第1四半期連結会計期間より独立表記しております。前連結会計年度より新たに連結子会社となったため、前年同期比較情報はありません。

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」におきましては、当第3四半期連結累計期間の来訪者数（延べ人数）は13,849,436人（前年同期比14.3%増）となりました。また、掲載製品数が2,377製品（前年同期は1,698製品）と前年同期に比べ40.0%増加したことに伴い資料請求数が増加したこと及び、ITトレンドEXPOが計画通り進捗したこと等により、オンラインメディア事業の売上高は2,247,627千円（前年同期比29.6%増）、セグメント利益は790,908千円（前年同期比26.5%増）となりました。

(ITソリューション事業)

ITソリューション事業の主力製品である「List Finder」におきましては、当第3四半期連結会計期間のアカウント数は484件（前年同期比3.9%増）となりました。また、アカウント当たりの単価は上昇し続けていること等によりITソリューション事業の売上高は357,109千円（前年同期比2.4%増）となりました。利益面におきましては、コクリポウェビナーのユーザーインターフェース機能改善開発等の結果、セグメント利益は71,524千円（前年同期比31.7%減）となりました。

(金融プラットフォーム事業)

金融プラットフォーム事業におきましては、独立系フィナンシャルアドバイザーの増員等による体制強化に注力いたしました。当第3四半期連結累計期間における金融プラットフォーム事業の売上高は523,850千円、セグメント利益は93,436千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産につきましては3,418,206千円となり、前連結会計年度末に比べ281,108千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が42,680千円、前払費用が39,690千円、ソフトウェア仮勘定が42,191千円及び投資有価証券が158,297千円増加したことによるものであります。

負債につきましては567,548千円となり、前連結会計年度末に比べ38,160千円減少いたしました。これは主に、賞与引当金が47,268千円及びその他の流動負債が29,961千円増加し、未払費用が36,178千円及び未払法人税等が73,757千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては2,850,657千円となり、前連結会計年度末に比べ319,268千円増加いたしました。これは主に、資本金と資本剰余金がそれぞれ10,517千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益261,992千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2022年3月期通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年2月9日）公表いたしました「2022年3月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

①2022年3月期通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,740	590	590	325	138.25
今回発表予想 (B)	4,300	650	630	350	148.88
増減額 (B-A)	560	60	40	25	—
増減率 (%)	15.0	10.2	6.8	7.7	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	3,083	517	522	293	135.27

②配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 27.80	円 銭 27.80
今回修正予想				30.00	30.00
当期実績	—	0.00	—		
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,997,781	2,040,461
受取手形及び売掛金	500,532	492,931
前払費用	30,141	69,832
その他	61,770	71,103
貸倒引当金	△397	△354
流動資産合計	2,589,828	2,673,974
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,978	12,889
工具、器具及び備品(純額)	8,086	5,966
有形固定資産合計	22,065	18,856
無形固定資産		
ソフトウェア	104,074	126,316
ソフトウェア仮勘定	29,610	71,801
無形固定資産合計	133,684	198,117
投資その他の資産		
投資有価証券	266,558	424,856
関係会社株式	6,600	6,600
従業員に対する長期貸付金	3,300	3,300
繰延税金資産	88,433	61,862
その他	27,137	31,264
貸倒引当金	△510	△625
投資その他の資産合計	391,519	527,257
固定資産合計	547,269	744,231
資産合計	3,137,097	3,418,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	164,250	153,714
未払法人税等	146,837	73,080
未払費用	138,912	102,733
賞与引当金	—	47,268
その他	143,120	173,082
流動負債合計	593,120	549,878
固定負債		
株式給付引当金	12,588	17,501
その他	—	168
固定負債合計	12,588	17,670
負債合計	605,709	567,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	991,229	1,001,746
資本剰余金	970,639	981,156
利益剰余金	592,454	854,447
自己株式	△40,066	△37,607
株主資本合計	2,514,256	2,799,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△276	3,443
その他の包括利益累計額合計	△276	3,443
非支配株主持分	17,407	47,470
純資産合計	2,531,388	2,850,657
負債純資産合計	3,137,097	3,418,206

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,084,160	3,132,816
売上原価	1,056,891	1,554,540
売上総利益	1,027,268	1,578,275
販売費及び一般管理費	719,772	1,092,311
営業利益	307,496	485,963
営業外収益		
受取利息	61	1,516
助成金収入	—	4,319
雑収入	188	475
営業外収益合計	249	6,311
営業外費用		
支払利息	46	0
支払手数料	—	701
投資事業組合運用損	—	1,581
雑損失	0	—
営業外費用合計	46	2,283
経常利益	307,699	489,991
特別損失		
固定資産除却損	—	3,079
特別損失合計	—	3,079
税金等調整前四半期純利益	307,699	486,912
法人税、住民税及び事業税	119,457	169,927
法人税等調整額	△12,892	24,929
四半期純利益	201,133	292,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	30,062
親会社株主に帰属する四半期純利益	201,133	261,992

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	201,133	292,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	407	3,719
その他の包括利益合計	407	3,719
四半期包括利益	201,541	295,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	201,541	265,712
非支配株主に係る四半期包括利益	—	30,062

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、オンラインメディア事業の一部サービスについて、従来は、総額で収益を認識しておりましたが、顧客への財又はサービスの提供における役割(本人又は代理人)を判断した結果、純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しておりますが、当該期首残高に与える影響はありません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価は、それぞれ9,533千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。